

学童保育ご担当課 御中

2022 年 1 月 24 日
群馬県学童保育連絡協議会
会長 信澤克巳
高崎市八幡町 179-1 第 2 八幡学童クラブ内

「放課後児童支援員等処遇改善臨時特例事業」の活用で 指導員の処遇改善を求める要望書

日頃より学童保育施策の推進にご尽力されていることに敬意を表します。2021 年 10 月 8 日、岸田文雄首相は所信表明演説で経済政策にふれ「保育の受け皿整備、幼保小連携の強化、学童保育制度の拡充や利用環境の整備など、子育て支援を促進」するとし、「看護、介護、保育などの現場で働いている方々の収入を増やしていくこと」を表明されました。さらに 11 月 19 日には「コロナ克服・新時代開拓のための経済対策」が打ち出され、「保育士等・幼稚園教諭、介護・障害福祉職員を対象に、賃上げ効果が継続される取組を行うことを前提として、収入を 3%程度（月額 9,000 円）引き上げるための措置」を閣議決定、臨時国会で補正予算が成立しました。そして 12 月 23 日、厚生労働省は「放課後児童支援員等処遇改善臨時特例事業の実施について」を通知し、「放課後児童支援員等処遇改善臨時特例事業実施要綱」を発出しました。学童保育職員も、保育士や幼稚園教諭と同様、収入の 3%程度（月額 9,000 円）の引き上げを明示。予算総額は 109 億 円、学童保育については、全国全市町村の全職員（放課後児童支援員、補助員、その他職員まで）が あまねく処遇改善される予算が組まれました。また 12 月 24 日には総務省から、「今回の経済対策の趣旨を踏まえ」専門職としての内容、責任、欠員補充の困難性等を考慮し、対象となる職員の処遇 について適切に対応するよう通知が出されています。少子化が進む中、学童保育は共働き、ひとり親家庭等にとって必要不可欠な事業となっています。加えて今般のコロナ禍は、学童保育が社会機能維持のためにも不可欠な事業であることをいっそう浮き彫りにしました。その一方で指導員不足は深刻な問題となっています。学童保育指導員はコロナ禍のもと改めて高い専門性が求められる仕事であることが明らかになりました。しかし現実には専門性や職務に十分見合わない低処遇での過重労働となっており、指導員が集まらない、続かない、疲弊している状況 が多くの地域で起きています。児童福祉事業として、子どもたちに「適切な遊び及び生活の場を与えて、その健全な育成を図る」ことを保障し、保護者が安心して働きながら子育てができるためにも、学童保育で働く指導員の継続的・安定的な就労が求められています。指導員の処遇の抜本的改善は急務となっています。今回の臨時特例事業の活用は、指導員の処遇改善にとどまらず、学童保育の発展、安心な地域社会づくりへの大きな一歩となる施策と考えております。市町村におかれましては、様々な課題がありご多忙の折とは存じますが、早急な検討と申請対応 が求められております。ぜひ貴市（町村）におかれましても

- ・「放課後児童支援員等処遇改善臨時特例事業」を活用し、指導員の処遇改善の実現
- ・国への交付申請 と議会への提案。
- ・事業計画書作成やその他の書類 周知方法など放課後児童クラブへの丁寧な説明及び指導を心より要望いたします。